



**Trilogy®
Acetabular
System**

手術手技



Versatility in a proven design



zimmer
Personal Fit. Renewed Life.

**Trilogy®
Acetabular
System
手術手技**

目 次

臼蓋のリーミング.....	2
カップのサイズ合わせ.....	2
ポジショナーの組み立て.....	3
インプラントの位置決めとアライメント調整.....	3
インプラントの位置決め.....	4
インプラントの挿入.....	4
スクリューの挿入.....	5
ライナーの位置決め.....	5
ライナーの挿入.....	6
ロッキングリングの設置（必要時）.....	6
最終整復.....	6

販売名：ジンマー寛骨臼用カップ
HA-TCP カップシェル

禁忌、警告、予防措置を含む製品情報が添付文書に記載されています。
必ず使用前は参照して下さい。

臼蓋のリーミング

リーマーを用いて臼蓋の設置部位に前処理を行います。リーマーをしっかりと保持し、カップを設置するのと同じ方向に圧力を加えます。



カップのサイズ合わせ

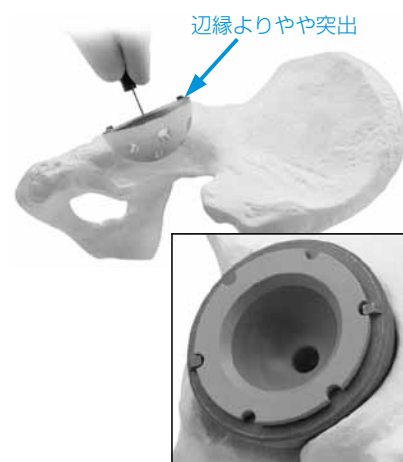
臼蓋の骨折を回避するため、最適なプレスフィットが得られるように外科的な判断を行います。骨質を評価し、適切なインプラントのサイズおよび種類を確認します。ポジショナーを用いて準備された臼蓋にシェルトライアルを設置し、そのサイズをチェックします。この際、シェルトライアルを打ち込まないでください。シェルトライアルは臼蓋の辺縁からやや突出して設置されます。

もうひとつの確認方法は、シェルトライアルの球底部分の穴からライナーのずれを確認します。そして、ライナートライアルを挿入して、仮整復を行います。

注意：特にノンホール、ユニホールまたはスパイクカップを使用する際には、この手順を慎重に評価することが不可欠です。

警告：Trilogyカップは完全な半球状であり、プレスフィットを得るためには十分な残存骨が必要です。

注記：最終リーマーのサイズよりも2mm大きいカップを設置することで、2mmのプレスフィットが得られます。



ライナートライアル
およびシェル

警告：破損の可能性があるため、ライナートライアルに打ち込みを行わないでください。

オプション
MIS オフセット・リーマー・ハンドル
00-7804-080-00

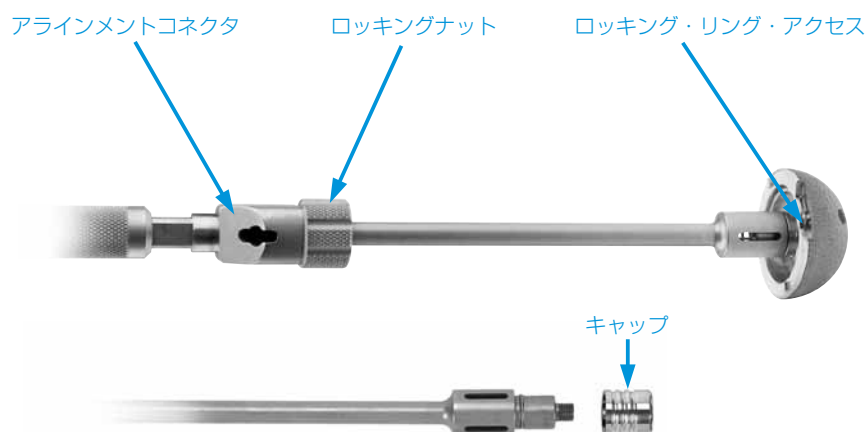
医療機器製造販売届出番号：22B1X00005H00095
販売名：MIS人工股関節手術器械



ポジショナーの組み立て

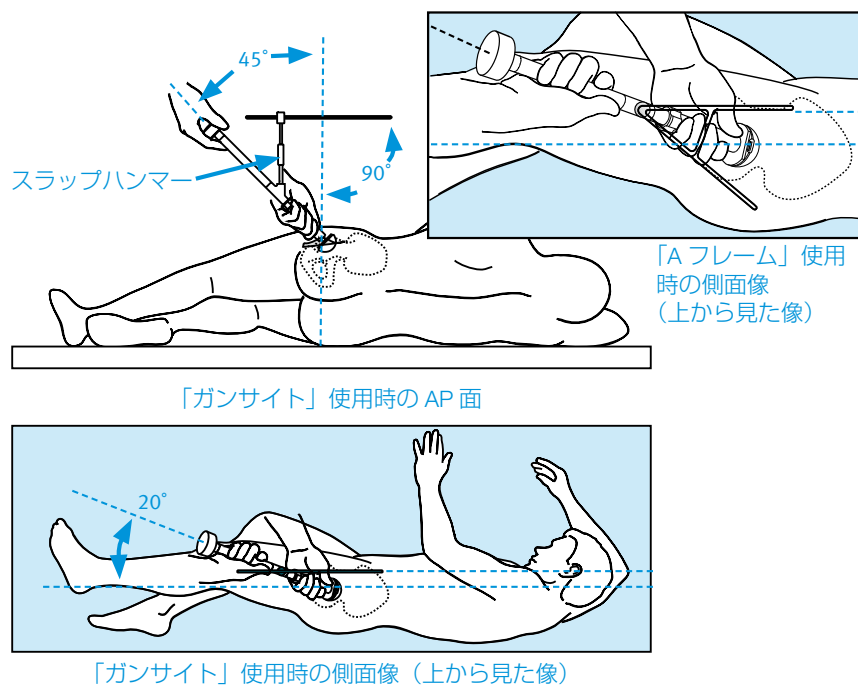
インプラントをポジショナー上にしっかりと装着します。アラインメントコネクタを示した位置に取り付けます。アラインメントコネクタはロッキング・リング・アクセスと一直線とする必要があります。アラインメントコネクタにインパクトを加えてテーパーとかみ合わせます。ロッキングナットを締めます。打ち込みの力は主に球底部分にかかります。

警告：インプラント辺縁部の回転防止タブに打ち込みを行わないでください。



インプラントの位置決めとアライメント調整

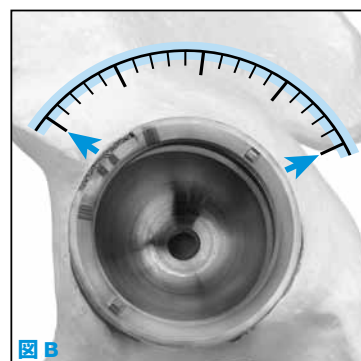
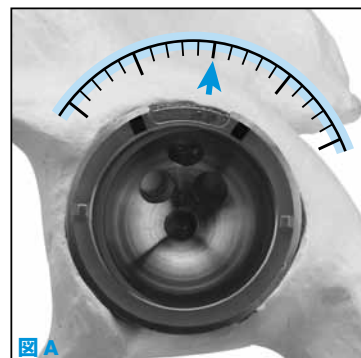
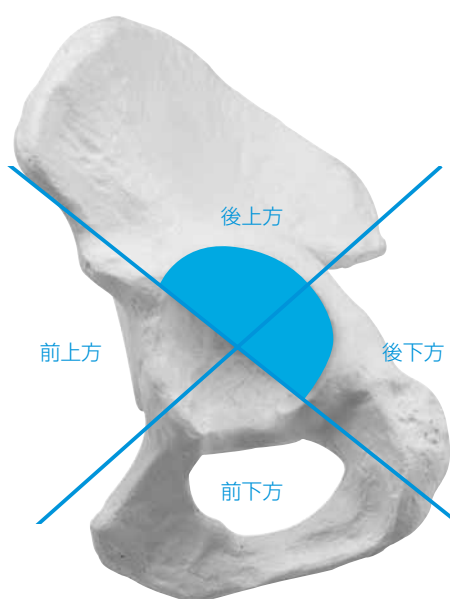
患者が正しい体位であることを確認します。インプラントをカップポジショナーに取り付けて、前処理した部位に挿入します。患者の体軸に対し、ポジショナーのスラップハンマー部分を垂直方向に維持し、「Aフレーム」または「ガンサイト」の延長部を体軸と平行にすると、45°の外方開角と20°の前方開角が得られます。



インプラントの位置決め

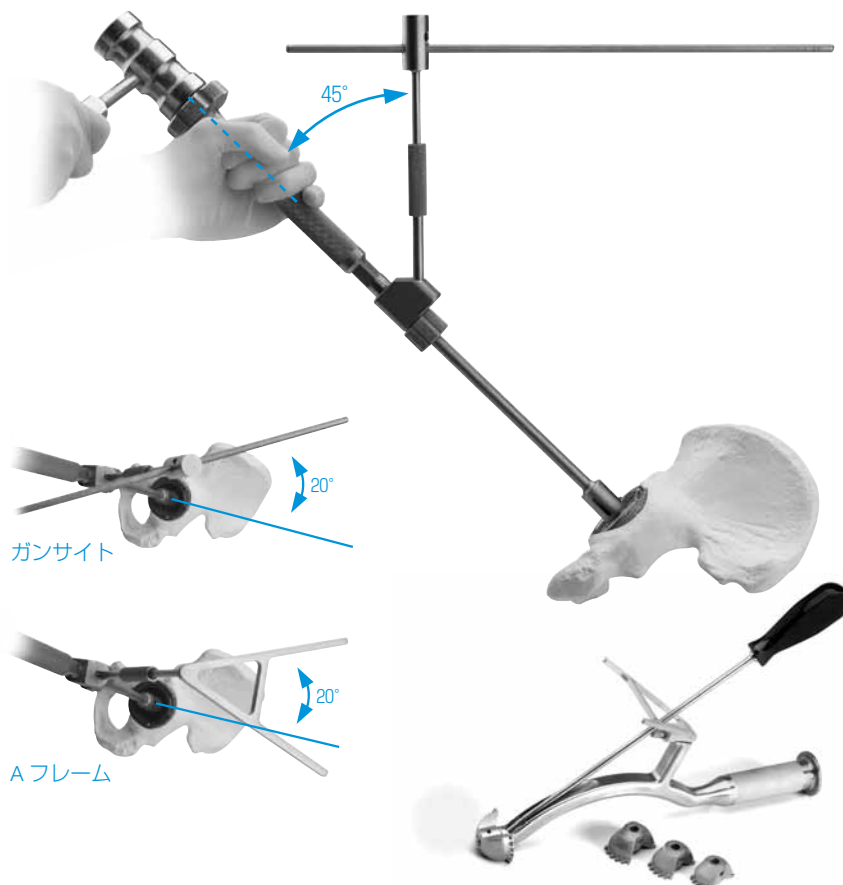
後方(後上方と後下方)にスクリーを使用することで、神経および血管の損傷リスクを低減することができます*。クラスタホールシェル(図A)は、臼蓋の後上方および/または後下方にスクリーを取り付けが可能となるような位置に設定します。スパイク付シェル(図B)を選択した場合には、ロッキングリングの一般的な位置は時計の10時方向または2時方向となります。臼蓋の前下方を確実に避けるためには、前方のスパイクを恥骨領域に位置設定します。

*RC Wasielewski, LA Cooperstein, MP Kruger, and HE Rubash. 寛骨臼の解剖学および股関節全置換術におけるスクリーの終臼蓋固定 (Acetabular anatomy and the transacetabular fixation of screws in total hip arthroplasty) *J. Bone Joint Surg. Am.*, Apr 1990; 72: 501-508.



インプラントの挿入

「ガンサイト」または「A-フレーム」のアライメントガイドを使用して、カップの位置決めを行います。小型のマレットを用いて小刻みに叩きながらカップを打ち込みます。インプラントを安全に設置するために必要な打ち込みの強さは、骨質により決まります。インパクトを加えることで、コレットまたはロッキングナットを締めなおさなければならないことがあります。打ち込みを続けている間に「Aフレーム」もしくは「ガンサイト」を外します。スパイク付シェル上のスクリー穴またはポジションナー穴から、シェルが完全に設置されているかを確認します。



オプション
オフセット・シェル・インサーター
00-7804-025-20

スクリューの挿入

スクリュー固定が必要な場合は、選択したスクリューホールへドリルガイドに通してドリルを実施し、パイロットホールを開けます(図A)。穴の深さをデプスゲージで測定します(図B)。適切な長さのスクリューを選び、スクリュードライバーを使ってパイロット穴に挿入します(図C)。必要であればスクリューを追加して取り付けます。

警告：神経および血管への損傷を避けるため、臼蓋を四分割した際の前下方にスクリューを設置しないようにしてください。

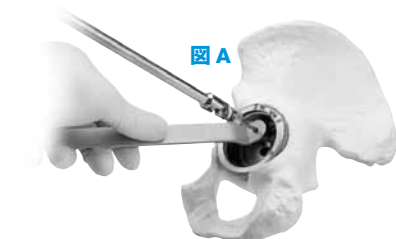


図 A

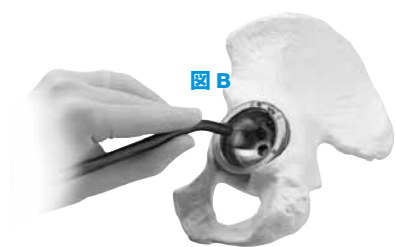


図 B

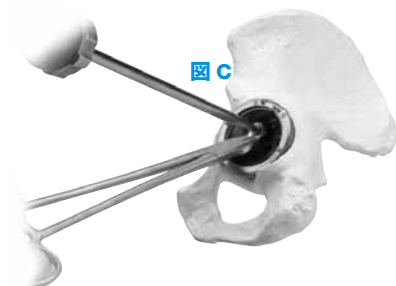


図 C

ライナーの位置決め

ライナートライアルをシェル内に挿入し、ライナーの設置状態を確認します。ライナートライアル上の回転防止スロットが、回転防止タブ2つとシェルの辺縁部に存在する黒色エッチングマークとぴたりと合う必要があります。シェル周辺から**軟部組織をすべて取り除き**、目視で状態を確認します。ライナーを挿入しやすくするために、レトラクターを調節しなければならないことがあります。完全に適合させるために、シェル内部を完全に乾燥した状態にします。最終的にポリライナーをライナーポジショナーまたは手で挿入します。回転防止タブと合わせます。双方のタブが人工関節のライナーズロットとかみ合っていることを確認します。

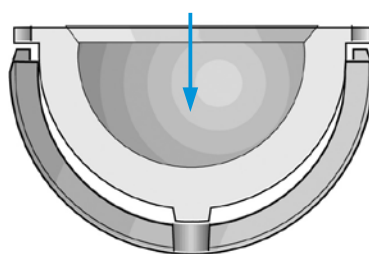


エッチングマーク

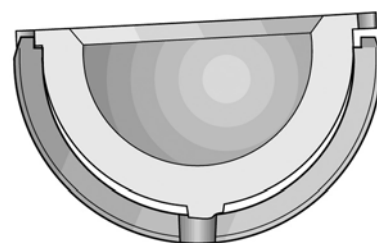
回転防止タブ



回転防止タブとスロットとのすれ



垂直に合わせた正しい状態列



球底部の突起のすれ

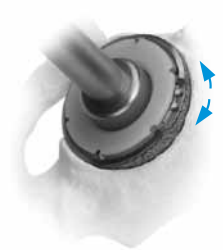
ライナー挿入

ライナーをシェルに押し込みます。ライナーをシェルに完全にかみ合わせるために打ち込みが必要になる場合があります。ロッキングタブが開いていることを確認し、一緒に締め付けます。ロッキングリングタブの間には2?3 mmの隙間ができます。ロッキングリングタブがプローベで左右に動かせる場合は、ライナーが完全に装着されています。リングはライナーを固定するために役立ちます。ロッキングリングは、自由に動く状態になっていることで正しく機能します。

A
挿入前



B
挿入



C
固定状態



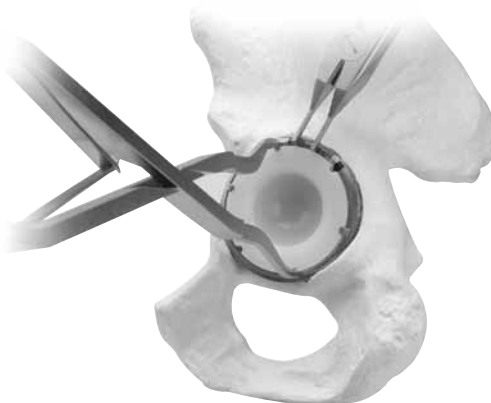
D
完全な装着状態（側面から側面にチェック）



ロッキングリングの設置(必要時)

点検時に、ロッキングリングが正しく機能していない、または損傷していると思われる場合、交換が必要です。ライナー設置されている場合、抜去用機器を用いてリングを開き、ライナーを取り外します。ライナーエクストラクターでライナーをつかみ、そのまま持ち上げてシェルから取り出します。

古いリングを取り外すには、リングをシェル側に押し込み、反対側から出た部分を保持します。安定かつしっかりとした保持が求められます。新しいリングを挿入するには、まずリングのタブをロッキングリングウィンドウに挿入します。次にリングを所定の位置に押し込みます。適切に取り付けられていれば、リングは所定の位置に入った後、シェル内を浮いた状態で自由に動くようになります。これでライナー設置を再開することができます。



最終整復

最終的な整復を行い、可動域、股関節の安定性、脚長を評価します。「微調整」や別タイプのライナーを必要とする場合は、抜去器を用いてライナーを取り外します。





ジンマー株式会社

本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目1番17号 神谷町プライムプレイス7階
Tel. 03-6402-6600 (代表) Fax. 03-6402-6620
<http://www.zimmer.co.jp>

- カスタマーサービス(商品のご注文) Tel. 0550-89-8522
Fax. 0120-89-3570
- 修理のお問合せ..... Tel. 0120-33-8507
- 製品のお問合せ..... Tel. 03-6402-6601